

金城学院幼稚園

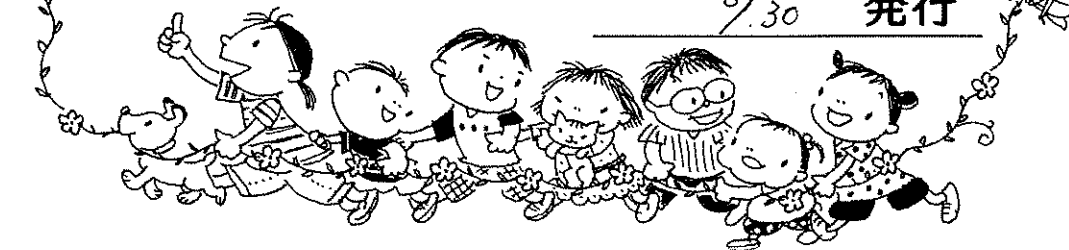
2023年度

こどもニュース

No. 6

～家族の日、プレゼント特集～

6/30 発行



【合同礼拝でのハンドベル奉仕】

園では年10回程度のハンドベルコーナーを実施しています。実は日本で最初に「ハンドベル」を取り入れたのは金城学院。幼稚園のハンドベルクワイアは金城学院が2009年度に120周年を迎えるにあたり2008年度に設立されました。ハンドベルは神様を讃美するための楽器である事を子ども達にも伝え、保育内のコーナーだけではなく課外のハンドベルクワイアでは、この15年間に約300人の子ども達が美しい音色を奏でてきました。

先日6月7日の合同礼拝で、このハンドベルのコーナーに参加していた9名の年長さん有志が讃美歌「♪ばらばらおちる」と献金の時にみんなで歌う「♪おささげしましょう」を奏でてくれました。

ハンドベルは一人一音のベルを受け持ち、仲間とタイミングや気持ちをあわせ、また指導して下さる愛先生の指揮をきちんと見るにより演奏が成り立ちます。練習は4月と5月のコーナーの時間だけでしたが、さすが年長さん、4月に「やりたい!」と自主的にメンバーが決まると少ない時間の中で集中して音をあわせていました。また5月のコーナーの日にはメンバーがお互いに声を掛け合い集まり、練習開始。奉仕する日も自分の「こひつじノート」に記入し予定を確認していたようです。

子ども達が担当する音には番号がふられ、指揮により和音を奏でます。愛先生が練習の中で「♪おささげしましょう」の7番の和音について「7番は曲の中で1回しか出てこないけれども、その1回がとても大事なんだよ」と伝えると、ある

年長さんが「どうして、その1回が大事なのかわかったよ。『アーメン』のところだからだね。」と話したそうです。また当日は「本番のために備えてきた」と言うメンバーがいたり、後日、愛先生に「鳴らして止める時はこうやってやるんだよね」と所作を嬉しそうに見せた年長さんもいたそうで、一言一言の中にハンドベルに向かう心持ちが感じられ、とてもうれしかったです。

これからも子ども達と讚美を続けたいと思います。




【家族の日】

園では毎年6月に「家族の日」を設けています。これは園のスクールモットー「愛され、育ちあう」を基に「私達を愛し育ててくださる神様がお与えくださった家族の愛と支えの中で過ごせることの幸いを感じる。その中で大人も子どもも共に育ちあう恵みをいただいていることへの感謝と喜びを表す日」とすることが願いです。

プレゼントに限らず「もらう」事の多い子ども達ですが、いつも見守ってくれる家族に想いを寄せ「贈る喜び」も知ってほしいと願い、各学年ごとにプレゼント作りに取り組みました。それぞれの年齢ごとに大切にしているねらいや子ども達に経験してほしい事を組み入れながら製作しました。

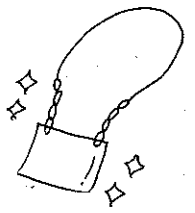
今回のこどもニュースはそのねらいや製作する過程での子ども達の様子などを中心にお伝えします。

そして幼稚園全体も神様の家族であることを忘れないでいたいと思います。私達は神様によって奇跡の様に会わせていただいた、かけがえのない一人ひとりです。そのことに感謝し、こども達を通し広がる関係を大事に、育ちあう家族として支えあっていきたいと思います。

児玉芽 

年長さんからは…

きんじょうみつあみケースですっ



♡いつもありがとう♡

「家族の日ってどんな日だろう？」と子どもたちと一緒に考えながら、おうちの人についても聞いてみました。「お父さんは助けてくれるから強い☆」「大好きって言うてくれる♡」など温かい言葉が次々とあふれます。中には、「ママのおっちょこちょいなところがかわいい♡」な～んて、キュンキュンしちゃうエピソードも♪今年年長さんは、手を挙げて発言してくれる子がいっぱい!!大勢のお友だちの前で、大好きなおうちの話を楽しそうに話す子どもたち。素敵ですね。

☆編めるかな…ん?ちょっと難しい☆

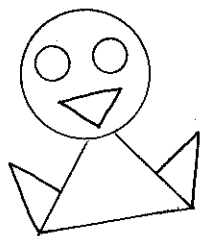
プレゼントは日常で使えるものを家族に贈りたいという思いから、昨年度も好評だったストラップ付のカードケースを作ることにしました。子どもたちの中には、「(去年の)年長さんが作ってた!」と、覚えている子も。プレゼント作りの経験が、後の三つ編み縄跳び作りにつながってほしいと願い、短い三つ編みに挑戦です!!初めて編む子も多く、まずは子どもたちに三つ編みの仕組みを伝えました。「知ってる～」「自分でできる!」と自信満々の子もいて、早速作り始めてみました。が、子どもたちの表情を見ると、「あれ?あれれ?」「ん?思ったより難しいぞ」と心の声が聞こえてきそうな感じ。手元でリボンを持ち、とってもしっかりと編める子もいましたが、未経験の子どもたちにとってはなかなか大変。「せんせー!次どうするのーっ!」「わかんないーっ」と言いながら、保育者とほぼマンツーマンで作った子もたくさんいました。しかし、ちょっと難しいことにも挑戦できちゃうのが、かっこいい年長さんです☆途中で諦めたり、投げ出す子はおらず、完成する頃には手元で編めるようになった子もいて、自分で最後まで編むことができました♪出来なかったことが出来るようになる喜びを感じて、これからの活動でも経験を積み重ねてほしいと思います。

♪プレゼントの名前はみんなで考えました♪

「プレゼントの名前は何かいいかな～」と、みんなで話し合い。本当にたくさんの素敵な名前が、次々と出てきました。「だいすきケース」「ありがとうケース」「みつあみケース」などなど。自分の名前を付けている子もいたりして、バラエティーに富んでいました♪多数決をして決まった名前は、「きんじょうみつあみケース」!!

大好きなおうちの人のことを思いながら、自分でリボンの色も選び、心を込めて作りました。プレゼントには、素敵なカードも添えてあります。「ありがとう♡」「大好き♡」の気持ちを、絵やメッセージで思い思いに表現しています。手作りケースは、是非保護者証入れとしてお使いください。卒園した後も小学校で使っていただけたら嬉しいです。

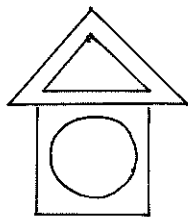
(Rina)



ありがとう だいすき

年中さんからの
プレゼント

ボード

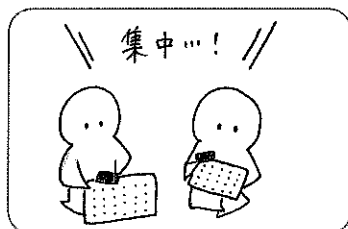
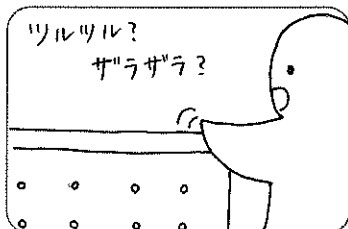
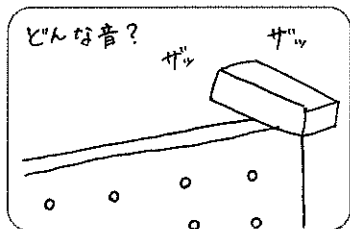
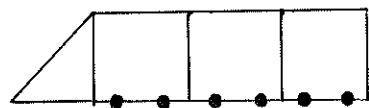


みんなおうちの方からたくさんのものをもらっているよね、どんなものをもらっているかな？と聞くと、「誕生日のプレゼント？」「もらってないよ」となかなか思い浮かばない年中さん。みんながいま着ている洋服も、おうちの方がみんなのために働いて用意してくれていることを話すと、「ああ〜」「もらってるもらってる！」とうなずいていました。おうちの方がしてくれることには、たくさんの子が手をあげて、「ごはん作ってくれる」「一緒に寝てくれる」など教えてくれました。おうちの方は、みんなのことがだいすきで、大切なんだね♡とみんなで話しました。

そんなおうちの方に年中さんから「ありがとう」「だいすき」の気持ちを込めて、プレゼントを作った様子をお伝えします！

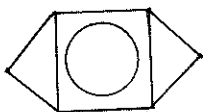
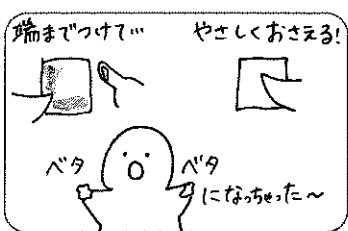
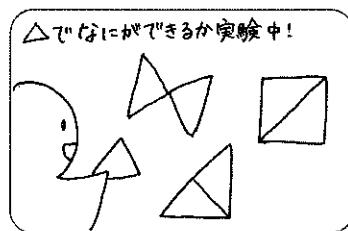
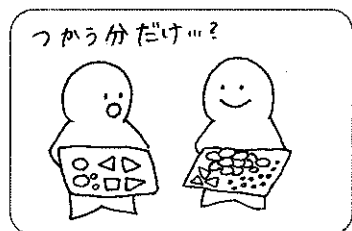
【やすりがけ】

プレゼントでおうちの方がケガをしないように、ボードにやすりをかけました。やすりをかけたところとかけていないところの、ツルツルとザラザラの違いを触って確かめながら、一生懸命かけました。

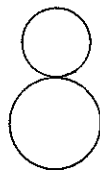


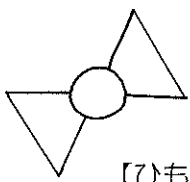
【構成画・ボンドつけ】

○△□で何ができるかな？○△□のフェルトを並べてみると、どんどんアイデアが湧き出てきました！絵ができたなら、はがれないように端まで丁寧にボンドをつけて貼りました。



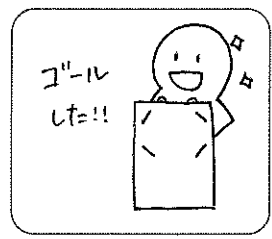
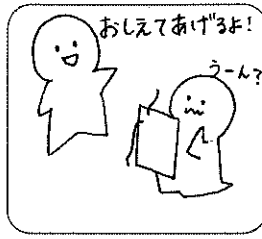
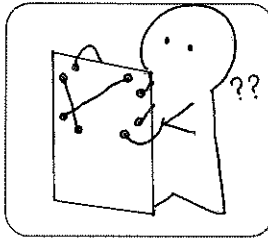
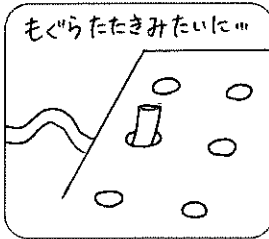
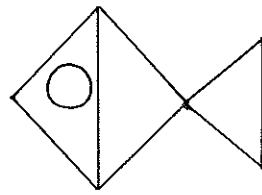
4





【ひも通し】

穴があいているボードに麻ひもを通しました。たくさんある穴の中で印のある穴に順番にひもを通していく工程に苦戦するだろうと思いましたが、スムーズにそして楽しんで通している子が多く驚きました。通したひもを固結びしたら、できあがり！

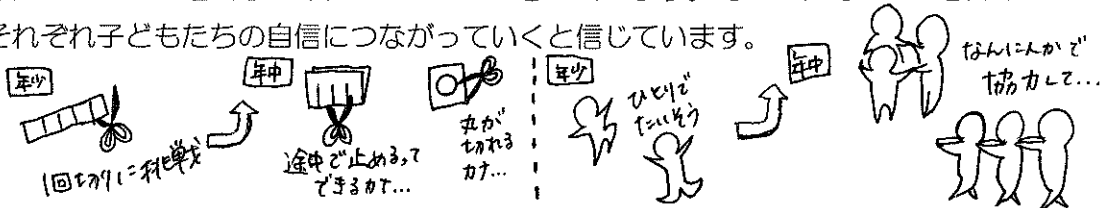


【カード】

ボードに飾ってあるカードは、「ありがとう」と「だいすき」から選んで、絵と自分の名前も描きました。「ありがとう」と「だいすき」どっちもいいな～と迷って決めたり、両方がいい！と両面描いた子もいます。裏面の絵や、写真も飾れるので、お気に入りのものを飾ってくださいね。

年中さんのあつまりでは…

今までに経験してきたことを繰り返しながら、少し難しいことにもチャレンジし、“できた！”という達成感を味わってほしいと思っています。そして、その“できた！”がそれぞれ子どもたちの自信につながっていくと信じています。



あつまりの時間と、自由な遊びの時間は深～く繋がっています。例えば、自分からはドロケイや鬼ごっこなどに挑戦しない子が、あつまりでやってみたら楽しくて、遊びの時間にも自ら参加していくように…なんてこともあります。

「年長さんみたいになりたい！」……[けど、難しそう]

「上手に作りたい」……[けど、失敗しちゃったらどうしよう]

前回のこどもニュースにも書きましたが、“やらない”“やりたくない”子どもたちの姿の奥には様々な思いがあります。その思いを受け止めながら、クラスだけでなくあつまりの中でも“やってみよう”と思える機会をたくさん作っていきます。



年少あつまり

年少さんからのプレゼントは……

家族で遊ぼう♪ ファイル です!

幼稚園でのお絵描き☆

年少あつまりで初めてのお絵描き。それぞれのクラスでは既に使っていて、使い方のお約束を聞いています。

今回は初めてのお絵描き、ということでおうちの人の顔や好きな動物など、自分の好きなものを描こう!と子どもたちには伝えてあります。ワクワクした顔でクレパスを握って、のびのびと絵を描いていました。そして、「見てみて!」と描きあがった絵をどの子も嬉しそうに見せてくれました。

「これがね、ママでね。こっちはパパ。あとね、お兄ちゃんも描くー!」

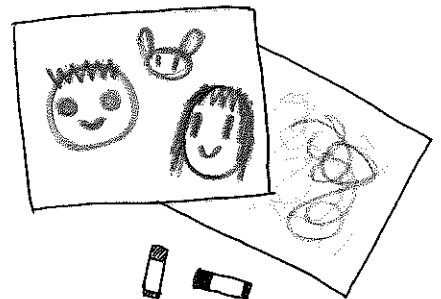
「ジェットコースター描いたよ!」

「ここ、まだ空いてるから……何を書こうかなー」

「えー、何描いたかはヒミツ!」

……と絵を見せながら教えてくれました。

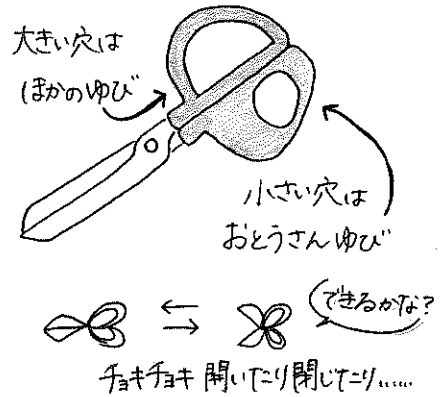
ぜひご家庭でも何を描いたか聞いてみてくださいね。



初めて!?!の ハサミ&のり

年少あつまりでは、道具の扱い方を知っていくことも大切にしています。そのため、一つひとつの道具の使い方を丁寧に確認しています。今回は、ハサミと糊に挑戦しました。

ハサミを使うときも、持ち方や何を切るかを確認してからのスタート。その説明を聞いている時には、不安そうな顔もちらちら。これまでお家で使ってこなかった子もいるのかもしれません。まずはハサミだけを持ってきて、開いたり閉じたりして動きを確認してみます。それ

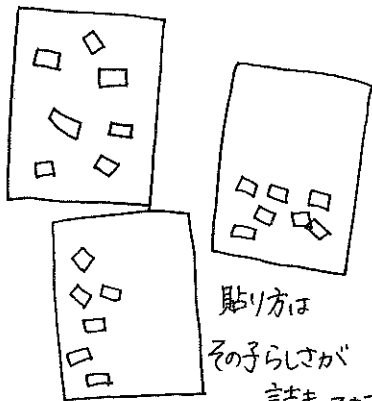
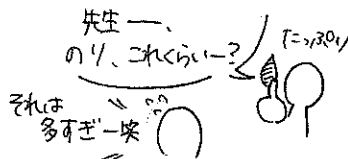
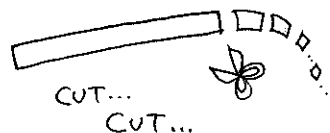


から、一回切りにチャレンジです。細い紙を切っていくと……上手に切れた！ 細い紙が一本切れたことが自信に繋がり、どんどん切っていく姿もありました。

続いて一回切りした紙を、でんぷん糊を使って貼っていきます。貼り付ける道具としてはセロテープやスティック糊が主流になってきている現代、指先を使っての糊付けも大切な経験です。

手にべたべたする糊独特の感触を嫌がる子が、今年はいないのにはびっくり！ 糊の量を使いすぎないように意識しながら、貼っていきました(紙の端から糊がはみ出たものがあるのはご愛嬌です)。

自分の切った紙を全部貼ろうと時間をかけている子、端まできれいに糊付けしようとしている子、数枚貼って満足して終わる子……、どの子も思い思いに糊付けを行いました。貼り方も、画面いっぱい貼る子や、下の方や横の方に寄って貼っている子など、その子の個性が出ていますよ！



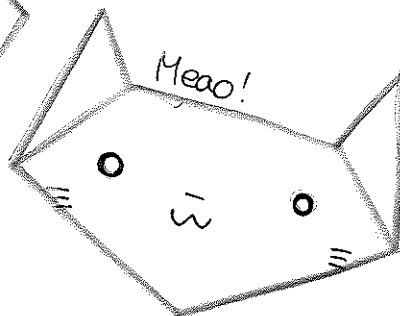
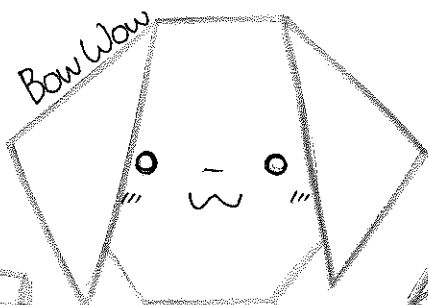
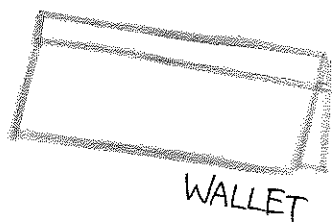
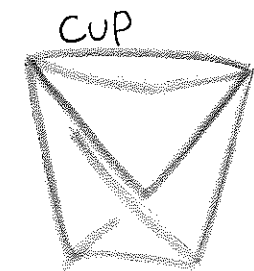
今回のプレゼントであるファイルの中には、折り紙の紹介の紙が入っています。折るだけではなく、その後の遊びにも使えるものです。ぜひ、親子で挑戦していただき、活用していただけたらと思います。また、お子さんの作品を入れたり、園からのお知らせを入れたり、ファイルもぜひ使っていただけたらと思います。

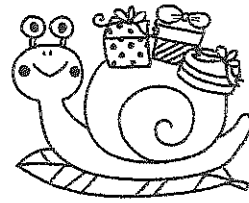
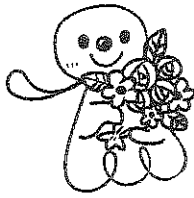
折紙の作品を持ってくる際には
記名をおねがいします！

せかくの力作...

なくなってしまうのは悲しいので...

(ゆか)





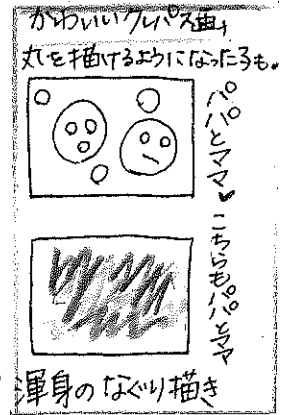
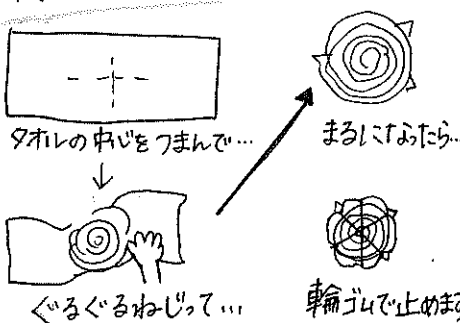
にじぐみの子どもたち殆どが、入園して初めてご家族の方と離れ、幼稚園という社会生活に第一歩を踏み出しました。前回もお知らせした通り、最近はずっかり緊張した表情も緩み、笑顔いっぱい幼稚園生活を過ごせるようになりました。そんな子どもたちですが、一番表情が輝くのは、おうちの方のことをお話してくれる時です。「おとうさんとこうえんいった!」「ママがおにぎりつくってくれた!」「おねえちゃんとぬりえした」「ばあばのおうちにいったよ」などなどおうちであったことを本当に楽しそうにお話してくれます。

そんな子どもたちにかぞくの日の話をして『いつもありがとう』の気持ちを込めて、「おうちの人にプレゼントを作らない?」とお話をしたときは「ん??」と初めはきよとん。

だって子どもたちにとっては、プレゼントとはもらうものですから(笑)それでも「お誕生日にプレゼントをもらった時、嬉しかったよねー。今度はみんなからプレゼントをしよう!」と話すのだんだん嬉しそうになりました。「おうちの人には内緒だよ。きっとびっくりするよ〜(笑)」と伝えると、さらにわくわくしながら楽しくプレゼント作りに取り組んでいました。

さて、そのプレゼントとは…!?子どもたちが幼稚園で楽しんでいるタオルあそびを、ご家族と一緒に楽しんでほしいと願い、子どもたちが自分で染めたタオルを贈ります!子どもたちにとっては、初めての染め物体験です。真っ白なタオルがきれいな色に染まって、びっくりしていました。※色止めはしてありますが、お洗濯の際には、色移りを避けるため他のものと分けて洗ってください。そしてタオルあそびメニューの表紙には、おうちの方を思っ—一生懸命クレパスで絵を描きました。

▼ 簡単タオル染め



タオルあそびは東日本大震災の避難生活の中で、遊ぶおもちゃがない子どもたちのために、支援物資で大量に届けられたタオルを使って遊ばないかと考案されたものです。

タオルあそびメニューに簡単な歌詞を載せていますが、お子さんから聞いたり、ご家族で節をつけて楽しんでいただけたらと思います。ご家族だけのオリジナルのあそびが生まれたら嬉しいです♪ぜひぜひお子さんと一緒にタオルを使って楽しく遊んでくださいな。